学校番号	３０９

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■表現方法と感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考えるデザイン、表現の学習や知識から考える「鑑賞」の分野について学習します。
■課題それぞれに異なった表現形式があり、扱う素材や必要な技法も変わってきます。素材の特性や形体、色彩などを自分なりに感じ取り、工夫し、独自の発想や表現を深めていきましょう。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a：美術への関心・意欲・態度	b：発想や構想の能力	c：創造的な技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動の様子	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 鑑賞活動の様子 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション	【鑑賞】 ・オリエンテーション 教科書などを鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 ・自己紹介アンケート	◎ ◎	○		◎	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている b:似顔絵やアンケートなどで自身のことを相手に知ってもらえるように工夫している。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	ポスターで伝える―四季のデザイン	【デザイン】【鑑賞】 レタリングによる文字の効果を考え、色面と組み合わせ四季のデザインを行う。 ・レタリング レタリング表を見ながらレタリングを鉛筆により行う。 ・四季のデザイン的表現 画用紙にアクリル絵具で着色する。 選択した四季それぞれの イメージに合うように明度・彩度・配色・構成等を工夫し表現する。 ・ワークシート 制作上うまくできたところや難しかったところ、次に繋がるようにワークシートに書く	◎ ◎ ◎	○	◎ ◎	○ ◎	a:四季の色彩やイメージの表現、またレタリングの美しさに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:構成条件や選んだ季節から、形や色彩の働きを考えて表現の構想を練っている。 c:鉛筆やアクリル絵具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 d:この課題の意図と、デザインの表現の工夫などを感じ取り、理解を深めている	制作の様子 制作途中の作品 作品 ワークシート
	人物を描く	【絵画・彫刻】 人物の写真の模写を行う。 ・人物写真の模写 B4プリントの見本を見て拡大模写をする。 鉛筆により行う。	◎		◎	○	a:鉛筆による可能な限り精密な模写表現を行うことに関心を持ち、主体的に活動に取り組もうとしている。 c:鉛筆・消しゴムの特性を生かし、自然な明暗のグラデーションなど表現方法を工夫して表現している。 d:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	制作の様子 制作途中の作品 作品

2学期	日本美術	【鑑賞】 日本美術の鑑賞を行う。 ・絵巻物、障壁画、浮世絵などの日本美術の作品から班で1作品選び、表現の特徴や工夫について話し合い、まとめる。 ・作品について調べる。 ・班ごとに発表する。	◎ ◎ ◎			◎ ◎ ◎	a:日本の伝統的な美術の表現の特質に関心を持ち、日本及び日本の美術文化や歴史について理解しようとしている。 d:日本の伝統的な美術の表現の特質や様式、主題や表現方法、日本の美術文化や歴史について理解を深めている。	ワークシート 鑑賞活動の様子や発言内容
	暮らしの中の「使う」デザイン	【デザイン】 キーホルダーとマグネットを作る。 ・アイデアスケッチ ・制作 軽量粘土で成形し、乾燥後アクリル絵具で着色する。 ニスを塗り、金具を付けて完成。	◎ ◎	◎ ○	◎		a:生活や社会を心豊かにするデザインの目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、軽量粘土による表現に主体的に取り組もうとしている。 b:デザインの目的、機能、美しさなどから主題を生成し、形や色彩などの造形要素の働きを考えて表現の構想を練っている。 c:軽量粘土やアクリル絵具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品
	身近なものを描く	【絵画・彫刻】【鑑賞】 普段身近にいる同級生のクロッキーを行う。 ・クロッキー 生徒同士でポーズを取り合い、スケッチブックに鉛筆でクロッキーを行う。 ・一枚ごとに感想を書き、次の作品がより向上するようにアドバイスをする。	◎ ◎		◎ ○	◎	a:素早く対象を描く技術に関心を持ち、表現の活動に主体的に取り組もうとしている。 c:クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。 d:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	制作の様子 作品
3学期	想像を形に	【絵画・彫刻】 「自身の世界」をテーマにコラージュ作品を制作する。 ・持参した雑誌や折り紙の切り抜きから自由に発しアイデアスケッチを行う。 ・本番のイラストボードにコラージュとアクリル絵具による着色を行っていく。	◎ ◎	◎ ◎	○		a:コラージュの技法独自の表現に関心を持ち、表現の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:コラージュという表現の特性を生かし、雑誌の切り抜きなどの形態や色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。